

台東育英

VOL. 19

台東区立台東育英小学校

No. 9

校長 瀬下 清

<http://www.taitocity.net/taidouikuei-s/>

校長 瀬下 清

謹んで新春をお祝い申し上げます。昨年は、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り心より御礼を申し上げます。新型コロナウイルス感染症の終息を願いますとともに、本年も本校に対しまして、なお一層のご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、8日より3学期が始まりました。新年を迎え、子供たちは、1・2学期に順調にできたことや上手いかなかったことも含め、気持ちを切り替え、学校生活に望むことのできる機会です。言い換えれば、子供たちの「やる気スイッチ」を入れるチャンスだとも言えるでしょう。

では、この「やる気スイッチ」は、どこかにあるのでしょうか。

脳科学では、脳の中にある「淡蒼球（たんそうきゅう）」という部分が活発に働くと、「やる気」がみなぎってくるそうです。しかし、残念なことにこのスイッチは、自分の意志ではオンにすることができないのです。スイッチをオンにするには、別の部位を刺激する必要がある、その一つの方法が、「とにかくまず体を動かすこと」だそうです。やる気は、出るまで待つものではなく、行動を起こすことで、出てくるものなのです。

また、心理学では、「やる気」は、4つのパターンから生まれることが明らかになっています。

「面白そう！（Attention 注意）」「役立ちそう！（Reason 理由）」

「できそう！（Confidence 自信）」「やってよかった！（Satisfaction 満足）」

これを、4つのやる気エネルギー「ARCS モデル」というのです。

3学期は、とても短い学期です。しかし、進級や進学に向けて、助走する期間ともなり、とても大切な学期になります。脳科学や心理学が明らかにした子供たちの「やる気スイッチ」をオンにできるチャンスが、学校の教育活動の中には、たくさん詰まっています。本年も保護者・地域の皆様と連携を図りながら、教職員が一丸となって、子供たち一人一人の「やる気スイッチ」にできる教育活動としていきたいと思います。

皆様にとりまして、本年が幸せな年になりますよう、心よりご祈念申し上げます。